

IT・サイバータスクフォース 活動報告

2022年10月25日

タスクフォース責任者

指田朝久

1. 活動目的

主旨：オールリスクアプローチの中でのサイバーリスクの位置づけの明確化と代替戦略早期復旧戦略の実現におけるIT対応の整理を行う

- ① オールリスクアプローチの中におけるサイバーリスクの位置づけ；最近のサイバーアタックの事例の整理、製造業などにおけるサイバーリスク（事業中断について）のまとめ
- ② 各企業の重要業務・中核業務の事業中断への対応としてのIT対応要領の整理、従来の金融機関などのバックアップセンターなどの対応ではなく、製造業の製造ラインに組み込まれたITの対応や中小企業とクラウド対応などの場面ごとの対応の整理など。
お役立ち感

2. 活動期間

- 2020年10月～2022年10月(継続中)
- 通算20回



3. タスクフォースメンバー

- 指田朝久
- 大久保茂人（16回から）
- 大塚純一
- 小田浩史（15回から）
- 加藤誠（11回まで）
- 中谷明男
- 細坪信二
- 堀格
- 松尾和世司
- 水落裕二（19回から）



4. 実施内容

- ① 普及活動：セミナー
- ② 地域勉強会での意見交流
- ③ IT業界団体向けアンケート調査
- ④ 中小企業向けITサイバー対策コンテンツ作成

4. 実施内容

① 普及活動

★ オープンセミナー 2回

2021年12月14日、2022年3月15日

ITシステムダウンやサイバーアタックへの備えとBCPについて、現状の解釈と対応策について、タスクフォースメンバーから情報提供を行い、参加者と意見交換を実施した。

★ 普及啓発セミナー 1回

2022年9月2日

「工場のサイバーセキュリティセミナー～工場停止と事業継続を考える」
会員外のIT-BCPに興味のある方をも対象に実施した。参加者と意見交換をおこない、工場の停止の実態の対応状況について情報共有を行った

4. 実施内容

② 地域勉強会との意見交換

岡山など地域勉強会に参加し中小企業の経営者と肌感覚を確認した。中小企業庁、IPAなど政府関係省庁と意見交換を行った。



4. 実施内容

③ IT業界団体向けアンケート調査

システムダウンやサイバーアタックが事業継続を引き起こす重要なリスクのひとつになってきていることから、IT関係等の業界団体との交流を目指してIT業界団体にアンケート調査を行った。

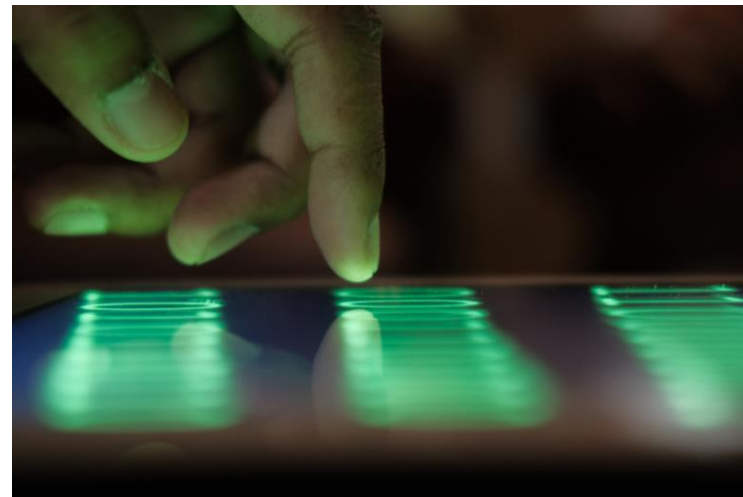
20団体にアンケートを送付し、結果、システム監査人協会と日本クラウドセキュリティアライアンス、日本ファシリティマネジメント協会の3団体から回答があった。事務局でコンタクトをとり、講習会などで相互に講師依頼をする可能性があることを確認した。

全体としては、IT業界はBCへの関心は高くない。

4. 実施内容

④ 中小企業向けITサイバー対策コンテンツ作成

中小企業タスクフォースの依頼により、ITシステムダウンやサイバー攻撃への備えとBCPについての教材コンテンツを作成した。



10 事前対策(1)

情報バックアップ IT・情報セキュリティ (サイバーテロ)

ITサイバータスクフォース

初版2022. 3版

内容

- **情報システム依存度と分類**
- **経営者の認識**
- **情報バックアップ**
- **IT・情報セキュリティ**
- **IT-BCP様式**
- **維持管理**
- **社員教育と演習の重要性**
- **ITに強いアドバイザーとの連携**
- **補助金の活用**
- **ビジネスチャンスにつなげる**

今後の予定



- ① IT団体の連携強化、
 - 1) アンケート調査に積極的回答のあった2団体への連携強化
 - ・システム監査人協会
 - ・日本クラウドセキュリティアライアンス
 - 2) 約20団体に対し再度セミナーなど後援・共催の案内実施
- ② IT関連会員拡大策の検討
- ③ DXへの見解のまとめ
- ④ BCとIT-BCPの整理
- ⑤ 中小企業向け講習（10月31日）講師指田